

三人の偉大な空想家(エンゲルス「空想から科学へ」から)



《サン・シモン(1760-1825、フランス貴族の末裔)》

サン・シモンはフランス革命を貴族とブルジョアジー(資本家階級)、プロレタリアート(労働者階級)の階級闘争としてとらえ、理想社会では生産の管理だけが問題となり国家も消滅するという天才的見地を示しましたが、未熟なプロレタリアートを信頼することができず、ブルジョアジーとプロレタリアートがいっしょに理想社会を建設すべきとしました。



《シャルル・フーリエ(1772-1837、フランスの哲学者)》

フーリエはブルジョアジーの悪徳を痛烈に批判し、婦人の地位向上や子供の保護を主張し、植民地支配を怒りをもって告発した当時もっとも偉大な風刺家でしたが、「空想から科学へ」には書いてありませんが)理想社会の建設を資本家に働きかけ、階級闘争を否定しました。



《ロバート・オーエン(1771-1858、イギリスの実業家)》

オーエンは、人道的な工場経営者として、他の工場が奴隷的労働を強いているのに対し、労働者の生活、とりわけ子供と婦人の生活環境を改善し、より人間的な企業社会を建設し、資本家にも大きな利潤をもたらしました。しかし、かれはそれで満足せず、すべての名声をなげうって共産主義思想へと前進し、イギリスの労働運動の発展に絶大な貢献をしました。